

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室

(児童発達支援)

公表日： 2025年3月31日

利用児童数： 62

回答数： 38

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり考えた事がなかったので、検討していこうと思います。 ・担当職員がお休みにした場合、代わりに担当できる方を配置して欲しい。 ・施設がいつもピカピカで綺麗なのが子どもは嬉しいようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、出勤時とお昼休み、出勤時など適宜清潔を保てるよう、全職員が配慮しています。 ・個別担当者がお休みの場合は、できるだけ速やかに担当者と部屋を確認し、ご提案させていただけるよう努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	35	2	1	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	7	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	2	1	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・大満足しております。 ・毎週のプログラムが個人個人に沿ったもので分かりやすい説明や適切な支援が提供されている ・毎回振り返りをいただき、できたこと、課題を確認できています。 ・苦手なことは、負担にならないように、適度に繰り返し活動に組み込んでくださっています。常に子どもの反応を見て柔軟に接してもらっています。 ・子供の成長ペースに合わせ、療育のカリキュラムをいろいろアレンジしてくれています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より詳しくお子さまに対する理解を深めるために、必要に応じて別途相談時間を設けさせていただいています。ご活用ください。 ・引き続き、一人一人のお子さんに合った専門的な療育プログラムを提供できるよう、努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	2	0	0		
保護者へ	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	27	7	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも分かりやすく説明していただいております。 ・個別でのアドバイスがもう少し欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別担当だけではなく、専門的な相談（言語相談、運動面の相談、医療相談など）をご提案することもできます。必要に応じてご活用ください。 ・引き続き、分かりやすい説明を心掛け、お子さんの理解を深める一助となることを目指します。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	2	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	3	2	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	3	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	2	1	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26	3	6	3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	3	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	2	1	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	4	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	2	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	7	0	4	<p>・訓練だけ参加しておりません。</p> <p>・急なゲリラ豪雨の際に雨具対策をしていただき助かりました。非常時の状況になった事はないがその際には迅速な対応を期待しております。</p>	<p>・高円寺教室の待合室の実績が置いてある本棚に、各マニュアルが置いてあります。ご自由にご覧いただけるよう、常時設置しておりますので、ご確認ください。</p> <p>・年に一回は避難行動の取り方や避難経路の確認などを、お子さんの年齢に合った形で実施しています。</p>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	6	1	4		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	4	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	7	0	4		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	38	0	0	0	<p>・子供楽しみにしているし、何より親の息抜き&療育に関する勉強する良い機会になっており、とても満足しています。毎回その時の子供に必要なことを、よく練られたプログラムにより実践していただいていると感じています。また職員の方たちが皆さん感じ良く、元氣と癒しを戴いています。</p> <p>・先生方の気遣いと心遣いの伝わる暖かさにこっぴどく通わせることが出来て本当に感謝しております。</p> <p>・こどもが楽しみに通室しています。駐輪場がもう少し充実していましたら助かります。</p>	<p>・引き続き、皆様にとって安心安全で楽しく通える場所になるよう、全職員が励んでいきます。</p>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	36	2	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	1	0	0		

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室

(児童発達支援)

公表日： 2025年3月31日

回答数： 11

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、出勤時とお昼休み、出勤時など適宜清潔を保てるよう、全職員が配慮しています。 ・聴覚過敏など個別での対応が必要なお子さんには、個別のお部屋を使用しています。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> ・総務担当者が話を聞いてくれ、話やすい環境が進んでいると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を実施し、改善点を見つける。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11			
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなスタッフが相談に乗ってくれている。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている	11			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11			

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11			
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11			
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11			
28		(センターのみ回答)				
29		(センターのみ回答)				
30		(センターのみ回答)				
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	3		
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	8		
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1		
保 護 者	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> ・グループの振り返り時にテーマを決めて、保護者同士の交流を図っている。 ・定期的に(月一回)『にっこにご通信』を発行している。 ・必要に応じて、それぞれのお子さんや保護者に合った伝え方をするように心がけている。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	3		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの有無や服薬・予防接種・てんかん発作などについては、生育歴シートにて保護者から情報をもらっている。 ・グループ療育で小麦粉粘土を使う際は、アレルギーの有無を確認してから使用している。 ・ヒヤリハットについては、ノートや朝会の報告で共有している。 ・身体拘束については勉強会を行った。基本的には行わない方針を確認・徹底している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯訓練もした方が良い。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	6		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	9			

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	発達支援ルーム にこっと 高円寺教室		事業種類	児童発達支援
保護者評価実施期間	2024年 12月 20日 ~		2025年 1月 7日	
保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数)	38
従業者評価実施期間	2025年 1月 16日 ~		2025年 2月 13日	
従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

事業所の強み (※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
療育の内容について、お子さんに合ったプログラムの作成、実施ができているとの評価を頂いている。	個別担当だけでなく、多職種でお子さんについての情報を共有し、支援について話し合っている。	必要に応じて専門相談の機会をご紹介し、活用していく。
保護者の不安や悩みに寄り添い、相談、アドバイスが行えている。	療育の中で、保護者との振り返りや相談の時間をとっている。	引き続き、必要に応じて、療育とは別の日時に相談の機会を提供していく。
施設が清潔で使いやすいとの評価を頂いている。	朝、昼、夕に職員間で業務を分担し、清潔・衛生が保たれるように全職員で清掃に取り組んでいる。	衛生係、設備係などの係業務があり、清掃だけでなく、環境整備に努めている。

事業所の弱み (※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
施設に駐輪場が無いことがご利用者さまの不便につながっている。	公共の駐輪場が遠い、混んでいることが多い。	近隣の駐輪場マップを作成し、教室に掲示しているので、ご活用いただくようご案内をしていく。
担当者の体調不良等で急に個別が休みになってしまうことがあった。	日頃から、個別療育も、多職種間で情報共有をしており、代理で対応できるスタッフがいる際は代理での療育の提供を行っている。スタッフが少ない時間帯に、同時間帯での代理での実施が難しいことがある。	時間をずらしての代理での実施の提案、早めの連絡、別日、別担当での振替の提案などをより丁寧にしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室

(放課後等デイサービス)

公表日：2025年 3月 31日

利用児童数：42

回答数：24

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	4	0	0	・年下の弟妹と一緒に来ることがあるが、静かに過ごすことは難しい。そのため、見学や相談に集中出来ないことがある。きょうだい児のにこっとでの過ごし方やルールについて、しっかり親側と話し合いをし、ご理解頂きたい。	・今後、同ケースが起きた際に別室で過ごせるような空間づくりを引き続き作っていく。 ・託児サービスの情報提供を行う。 ・兄弟児が過ごすマナーの注意喚起を行っていく。 ・定期的に保護者に施設利用の満足度等の聞き取りの機会を作る。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	24	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1	0	0	・保護者同士が話しをする時間が十分に確保されていないのは残念です。振り返りの時間でなく、同じ年齢の特性のある子を育てる保護者同士の意見交換の時間はとても必要に感じます。この子達の長期的な支援を考えると、保護者の横のつながりはとても大切なことだと思います。 ・毎回のフィードバックや計画評価時に親身になって相談に乗ってください、個人に合わせたアドバイスをさせていただけるので、充分であると感じております。	・グループ療育では、通常の振り返りだけでなく、テーマを作って保護者と共に話し合う機会も作っています。より積極的に実施していきたいと思います。 ・保護者向けに、見通しやライフステージに合わせた講演や勉強会を開催するという提案が出ていますので、今後、検討していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1	0	0		
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	5	2	0	・保護者同士が話しをする時間が十分に確保されていないのは残念です。振り返りの時間でなく、同じ年齢の特性のある子を育てる保護者同士の意見交換の時間はとても必要に感じます。この子達の長期的な支援を考えると、保護者の横のつながりはとても大切なことだと思います。 ・毎回のフィードバックや計画評価時に親身になって相談に乗ってください、個人に合わせたアドバイスをさせていただけるので、充分であると感じております。	・保護者向けに、見通しやライフステージに合わせた講演や勉強会を開催するという提案が出ていますので、今後、検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	3	1	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	21	2	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	7	2	3		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2	1	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	2	0	0		
	22	個人情報取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	2	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	1	0	0	・子供の生活スタイルの変化もあり、親が求めていた支援が事業所の提供内容と食い違ってしまい満足度が下がってしまった。 ・フォロー体制がしっかりしていて安心して通所出来ています。	・療育を、決められた時間通りに始め、時間通りに終わることを徹底します。また、スタッフ配置を工夫するとともに、お子さんには時間を意識した声掛けなど行います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	1	・スタッフの方々もいつも元気そうで、子供達も通うのを楽しみにしております。	・発達検査の提案・実施にあたっては、お子さんと保護者のニーズを十分に聞き取る機会を作ると共に、内容や時期などの説明をより丁寧に行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	3	0	0	・発達検査を受けるまで時間がかかり過ぎており、子供や保護者のためになっているか極めて疑問に感じました。	

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室

(放課後等デイサービス)

公表日：2025年 3月 31日

回答数： 9

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		2.スタッフの休む日が重なることが多いため、代理の人の負担を減らす仕組みが欲しい。 3.倉庫にドアや扉がないため、子供が出入りできることがある。 手洗い場までにソファが置いてあることで気が散る子がいる。 4.ホワイトボード、机や椅子などが、幼児も対応できる環境になっている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	7.保護者のアンケートを基に他事業所や医療の情報提供を実施。 9.他教室の実地指導を基に、改善を行った。	10.より幅広い研修内容していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	11.グループの話し合いの機会を増やして多角的なプログラム作りを行っている。 17.ミーティングの時間と機会を増やした。 18.どこのグループも活動のバランスを考えるようにしている 19.基本枠組みはあるが、相談を持って、必要な支援を提供できている。 21.2-30分の時間を設けている。	12.15.Vineland IIでの適応行動やその他自閉傾向などについてのツールをより活用していきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	29.児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行にあたって、年度頭に情報提供しやすい体制になっている 30.支援計画書を主な共有ツールにしている。	35.保護者の方に療育を見学していただくにあたって、ポイントの提示や評価などのサポートをより実施していきたい。 37.教室の目的がお子さんに十分に伝わっていない、理解されていない時に、お子さん向けに説明をする機会があるとより良い。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	7		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0			

	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	40.グループ療育のあとで、保護者の方と振り返りをするグループ面談の機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	48.持病等の把握に努めている。 54.身体拘束研修を実施。身体拘束は行わない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	5		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	5		

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	発達支援ルーム にこっこ 高円寺教室		事業種類	放課後等デイサービス
保護者評価実施期間	2024年 12月 20日 ~		2025年 1月 7日	
保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	24
従業者評価実施期間	2025年 1月 16日 ~		2025年 2月 13日	
従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

事業所の強み (※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
子どもに合ったプログラムを多角的に組み立て立案している。	今年度、保護者対応をより丁寧に行うため、保護者の面談時間を積極的に設定できている。	日常業務の改善案を出して検討するための機会や仕組みがより有効に生かされるようにしていく。
スタッフ間に、幼児担当・小学生担当の垣根を越えて、助け合いの土壌ができている。	リーダーもサブも話しやすい時間を設定しており、全員でグループ作りができている。	継続して、コミュニケーションを積極的に図っていく。更に、他教室との連携のため、他教室スタッフともコミュニケーションを図っていく。
お子さまの成長と特性を理解して支援する環境が整っている。また、必要に応じて、親の困り感や相談に寄り添える枠組みを臨機応変に設定できる。	チームで協働していく中で専門的なアセスメントを心掛け、それぞれにあわせた支援を実施している。	引き続き、定期的な学習会や検討会で専門性やスキルの研鑽を図る。

事業所の弱み (※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
使用できる部屋や広さ、設備(椅子・机・棚・ホワイトボード等)にて状況に合わせて使用することに限界がある。	年齢や体形に合わせて、全てのお子さまに合わせた机や椅子が無い ホワイトボードや倉庫の場所が固定されている。	パーティションや机の配置などを工夫し、集団や個々にあった環境設定を努める。
駐輪場がないため、一般の駐輪場などを使用している。	テナントに、来客用の駐輪場がない	駐輪場マップを作り、掲示している。 教室周辺のイベントがある際は事前に保護者に連絡し、駐輪場の場所や混み具合に関してアナウンスする。
土地柄、地域の大きなイベントがあり、その際には移動や来室に不便をかけることがある。	年に数回イベントの開催時には、教室前の混雑や通行規制がある。	一週間前や前日、当日にLINEや声かけ等でアナウンスを努めている。 特に小さなお子さまを連れて来室される方には安全面に配慮し、時間変更も承っている。 駅までの混雑回避ルートを掲示している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室／永福教室

(保育所等訪問支援)

公表日： 2025年 3月 31日

利用児童数： 18

回答数： 9

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6			3		訪問支援の際には、児童発達支援の担当者と情報共有を常に行っております。また、その際に使用している教材や活動内容を、園にお伝えしながら園での保育に活かしていただいています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	7	1	1			
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	9					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8	1				
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	8			1		個別支援計画の作成に際しては、保護者の方の願いと園の先生の困り感やニーズに基づいて作成をし、保護者の方にご説明を行っています。また、計画の写しを園にもお渡ししています。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	9					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	9					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	6			3		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	6			3		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	8		1			
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	9					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1			非常に丁寧に説明して下さっていると感じます。	訪問支援を実施した後は、報告書を作成して保護者にお渡しするとともに、面談を通して具体的な様子や支援の内容についてご説明を行っています。引き続き、丁寧にご報告・ご説明をするように心がけていきます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3		3		
	15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	7	1	1			

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9				
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1		1	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	2			
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6	1		2	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8			1	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1		2	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3	2		4	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	2		1	臨機応変に対応していただき、感謝しかありません。 2ヶ月に一度園へ訪問して下さることがとても手厚く感じていますし、安心感もあります。娘も楽しみにしているようで、親としても嬉しいです。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8			1	
	28	事業所の支援に満足していますか。	8			1	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルームにこっと 高円寺教室/永福教室

(保育所等訪問支援)

公表日： 2025年 3月 31日

利用児童数： 18

回答数： 9

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> 実践的でわかりやすく、保育に取り込めるものが多く助かります 園生活は気をつけていても流れてしまうことも多くありますが、気付いたことを伝えてもらうことで、改めて自分たちの関わりを振り返ることができています その時々合った助言をいただけてすぐに実行しています 担当児の状況や場面を見て具体的なアドバイスをいただけて、すぐに取り入れることができました 児童発達支援での様子を話してくださり、とてもわかりやすく助言や説明をいただけるので助かっています 	園の先生方からいただきましたお言葉に感謝申し上げます。 引き続き、専門職同士の協働と連携によりお子さまとご家族、先生方の笑顔や幸せにつなげるために訪問支援を充実させていきたいと思っています。 今後とも、どうぞよろしくお願いたします。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10			<ul style="list-style-type: none"> 園でも迷う課題等に対して、助言いただくことで新たな方法を提案していただき、参考になっています 資格を取った後も、常に学んで知識を更新されていると感じます 対象児の知らない様子や難しい対応方法を教えていただき参考にになります 職員にもわかりやすく伝えてくださっています。色々な方向からのアプローチを教えていただけるので学びになっています 投げかけについて、理解がそれぞれとなり、本児にメリットになっているか気がかりです 	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> こちらの問いに療育での姿を盛り込みながらイメージしやすく回答いただけるのが助かります 丁寧かつわかりやすく答えていただいています。保育中その場で話せるタイミングもあり取り入れやすいです 児童発達支援での状況もわかりやすく伝えてもらえました とても丁寧に、適切に答えていただいています 	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> 園での対応が子どもの状況に合っているか不安が話を伺うことで解決されています 子どもへの関わり方を見直すきっかけとなりました。担任以外の人の関わり、声掛け、関係性を見直したことで子どもがよりイキイキと生活できるようになりました 対象児だけではなく保育者の課題や悩みが解消されています 即時解消はされませんが、多くの糸口をいただき軽減できています その都度気持ちよく対応してくださり、職員みんな助かっています アドバイスを的確にいただけるので勉強になります 	
5 事業所からの支援に満足していますか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> 集団生活の姿を踏まえ、次につながる取り組みを共有できているので満足しています 大満足です。保育士へのアドバイス、保護者へのアドバイスで共に子どもに結果が出ているのは、にこっとさんのおかげです 毎回新しい発見と課題が見つかり、有意義な時間になっています にこっとさんと家庭と保育園で連携をとり担当児の支援ができて大変満足しています 家族とのやりとりの仕方が難しいです。違う意味で本児にプラスになる手立てを一緒に検討してほしいです 	
その他のご意見					
<ul style="list-style-type: none"> 園の姿や家庭からの話だけでは、子どもの支援は難しいことも多いので、集団での子どもの姿を見ていただいた上で、支援や課題の共有ができるので、可能であれば長期的に継続していけると助かります。 毎回、穏やかで丁寧に適切なご助言をいただけてとてもありがたく思っています。 子どもにとって一番は親の理解なので、親にいかかに子どもの特性を理解してもらえるよう伝えるのが難しいと思いますが、時間をかけて丁寧に伝えていただいていると感じています。保育園だけでは進まないところを客観的に専門家にみていただき、アドバイスももらえることに感謝しています。にこっとさんは親子向き合ってくれ親の気持ちに丁寧に寄り添いながら的確なアドバイスをいただけているので、保育園としては非常にありがたい存在です。 訪問支援を利用させていただき、丁寧にてもらい、とても良かったです。 具体的なアドバイスをいただき、同時に療育での様子をお伺いできる有効な機会に感謝しています。 長いお子さんは3年目となります。子どもの成長を見守り、私達をいつも励ましてくださって感謝の気持ちでいっぱいです。 児童発達支援では個別療育を行っており、日々の保育園の集団の中で活かされているか明確につかめない部分が多いです。本児の成長と停滞などを踏まえた上で、療育通所時間での集団活動中のコントロールの目安や適宜タイムリーな声掛け、成功例やアプローチの仕方を聞きたいです。 					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 発達支援ルーム にこっと 高円寺教室／永福教室

(保育所等訪問支援)

公表日： 2025年3月31日

回答数： 11

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	9	2		・訪問支援のためのアセスメントツールの活用や、使用している書面のフォーマットの改良を行っていききたい。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1	・児童発達支援等の個別療育の担当者との連携や話し合いを定期的に行っている。	・最近では、訪問支援に関する研修を実施していないので、今後は行っていききたい。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	8		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	11	0	・療育で発達検査を実施した際には、児の理解や支援の検討に役立っている。 また、作成する報告書は、必ず児発管に確認をしてアドバイスを受けている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	11	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されている	11	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1		

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	11	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	11	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	2		
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	7		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	11	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	11	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	9		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0		

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	11	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	11	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	11	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	10	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1		・保育所等訪問支援事業としては左記の対応はしていないが、保育所等訪問支援のスタッフは、児童発達支援のスタッフと兼務をしているので、児童発達支援の事業所として左記の取り組みに必ず参加している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	3		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	3		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	6		

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	発達支援ルーム にここと 高円寺教室／永福教室		事業種類	保育所等訪問支援
保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～		2025年 1月 31日	
保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	9
従業者評価実施期間	2025年 1月 16日 ～		2025年 2月 13日	
従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 20日 ～		2025年 2月 10日	
訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	16	(回答数)	11
事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
発達支援についての経験が豊富なスタッフが訪問支援に携わっており、訪問先施設と保護者からの信頼や満足を得られている。	保育所等訪問支援の担当スタッフと、療育の担当スタッフの協働や連携を積極的に行っている。そのため、療育支援の充実に活かしやすい。	担当するスタッフの数を増やし、より多くのお子さま・保護者・所属園や学校のニーズに応えられるようにしていきたい。
自教室の児童発達支援・放課後等デイサービスを利用しているお子さまを対象としており、療育機関と在籍園・学校との情報共有が、双方の支援に活かされやすい。	訪問後に、保護者への報告を、書面や面談を通して丁寧に行っている。	

事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
発達検査の結果は活かしているが、訪問支援用のアセスメントツールはまだ活用できていない。	各訪問支援員の専門性や経験に基づいて、訪問支援を行っている。	スタッフからの提案をもとに、試行的に取り組んでいき、効果を確認する。
訪問支援員への研修が少ない。	療育と兼務のため、訪問支援に絞った研修の機会を設定しづらい。	年度初めに、研修のスケジュールを組み立てていく必要がある。